年度 2008年 前期 曜日·校時 木 2 必修選択 必修 単位数 1 授業科目/(英語名) 総合英語 Comprehensive English 対象年次 1年次 講義形態 演習 教室 対象学生(クラス等) M14 科目分類 外国語科目(英語) 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワ-担当教員:山口敦子/Εメールアトレス: /研究室:非常勤講師室/長崎純心大学 /TEL:095-846-0084/オフィスアワー:授業終了時

担当教員(オム ニバス科目等)

授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標

授業のねらい:

日本でも親しまれている英米の小説やエッセイを原文で読むことで、本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景の中で生きた英語を味わっていく。本年度は A. A. ミルンによって書かれたイギリス児童文学の傑作、『クマのプーさん』と『プー横町にたった家』から選んだ数章をテキストとして取り上げる。ユーモラスで生彩に富む文体を味読しながら、英語を文化と表現の手段としての観点から学ぶ。また CD、テープのナレーションを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。

授業方法:

毎回本文のリスニングと和訳を中心にテキストを読み進めていく。

授業到達目標:

英語の文法力や語彙力を増やし、長文の読解力を強化する。英語の言葉の生み出すユーモアとリズムを体得する。

## 授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

テキスト *The World of Pooh* に沿い、3~4コマで1章分を終える予定で進めていく。受講者は前もって予定箇所を予習しておく。また指定された担当者が毎回テキストを読み、和訳を発表する。

第1回 イントロダクション

- 第2回 第1章 In which we are introduced to Winnie the-Pooh and some bees, and the stories begin リスニングと和訳の確認
- 第3回 第1章 In which we are introduced to Winnie the-Pooh and some bees, and the stories begin リスニングと和訳の確認
- 第4回 第1章 In which we are introduced to Winnie the-Pooh and some bees, and the stories begin リスニングと和訳の確認。
- 第5回 第3章 In which Kanga and Baby Roo come to the Forest, and Piglet has a bath リスニングと和訳の確認。
- 第6回 第3章 In which Kanga and Baby Roo come to the Forest, and Piglet has a bath リスニングと和訳の確認。
- 第7回 第3章 In which Kanga and Baby Roo come to the Forest, and Piglet has a bath リスニングと和訳の確認。
- 第8回 第5章 In which a house is build at Pooh Corner for Eeyore リスニングと和訳の確認。
- 第9回 第5章 In which a house is build at Pooh Corner for Eeyore リスニングと和訳の確認。
- 第10回 第5章 In which a house is build at Pooh Corner for Eeyore リスニングと和訳の確認。
- 第11回 第6章 In which Pooh invents a new game and Eeyore joined in リスニングと和訳の確認。
- 第12回 第6章 In which Pooh invents a new game and Eeyore joined in リスニングと和訳の確認。
- 第13回 第6章 In which Pooh invents a new game and Eeyore joined in リスニングと和訳の確認。
- 第14回 第6章 In which Pooh invents a new game and Eeyore joined in リスニングと和訳の確認。

第15回 期末テスト

キーワード	
教科書·教材·参考書	The World of Pooh(英光社)
成績評価の方法・基	授業への積極的参加状況 20%
準等	期末試験 80%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
/学習·教育目標	
備考(準備学習等)	